



1 単元における学習評価の進め方

単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

評価の進め方	1	単元の目標を作成する	①、②については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
	2	単元の評価規準を作成する	③については、①、②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。 どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
	3	「指導と評価の計画」を作成する	
		授業を行う	③に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。
	4	観点ごとに総括する	④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的评价(A、B、C)を行う。

2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法

次に示した学習指導要領の記述形式等を踏まえて、単元の評価規準を作成する。

小学校学習指導要領の記述形式より（一部）

- (1) **A** について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識や技能を身に付けること
- (ア) Bを理解すること
- (イ) Cなどで調べて、Dなどにまとめること
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること
- (ア) Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること

単元の評価規準作成（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① E などについて C などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、F を理解している。	① E などに着目して、問いを見だし、F について考え表現している。	① A (に関する事項) について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
② 調べたことを D や文などにまとめ、B を理解している。	② O と O を（比較・関連付け、総合など）して G を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	② よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。

Point①

②の単元の評価規準を作成する場合は、「学習したことを基に〇〇を考えようとしている。」という形式を用いる。
(Point②参照)
〇〇に当てはまる内容は、学習指導要領解説や内容の取扱いの記載事項を参考に作成する。

Point②

小学校学習指導要領 第3学年 内容(3)「地域の安全を守る働き」（一部）

- (3) **地域の安全を守る働き**について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。

単元の評価規準②の評価については、学習指導要領の内容の取扱いに「社会への関わり方を選択・判断する」「多角的に考える」ことが示されている内容に関連する単元では積極的に評価していくことが考えられる。

【主体的に学習に取り組む態度の評価規準】

小学校学習指導要領解説 第3学年 内容(3)「地域の安全を守る働き」（内容の取扱い）

- (3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。
- ア アの(ア)の「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げること。その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫すること。
- イ イの(ア)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちができることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

- ① 事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ② 学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。

3 単元の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

- ① 事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。【態-①】
- ② 学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。【態-②】

②で作成した評価規準を改めて確認してね。これを、④では「指導と評価の計画」に当てはめていくよ。



4 単元の指導計画及び評価の具体的な場面（一部）

- ③ の評価規準に基づき、「主体的に学習に取り組む態度」の評価場面や評価方法を具体的に位置付ける。

時間	ねらい	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1	火災の学習を振り返り、事故や事件から地域の安全を守るための働きについて学習計画をつくり、学習計画を立てることができるようになる。	○イラストやグラフ、写真などから学習問題をつくる。 ・学習問題の設定 ○学習問題の予想をもち、学習計画を立てる。 ・学習問題の予想 ・学習計画の立案	□イラスト・写真「警察が活動している様子」 □グラフ「事故や事件の発生件数」	ノートの記述や発言内容から「安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【態-①】 発言の内容やノート記述から「単元1の追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】
2	警察がどのような仕事をしているか理解できるようにする。	○警察署の方の話を聞いたり、仕事を観察したりし、警察署の人たちの仕事を調べる。 ・警察の一日の仕事 ・法やきまり	□イラスト「警察の一日の仕事」 □インタビューメモ	見学カードやノートの記述内容から「警察の見学・調査したり地図などを使って調べたりして、必要なことを集め、読み

「努力を要する」状況(C)と判断される児童への手立てが大事になるんだね。



単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面

【態-①】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 1/8時間

【発言の内容やノートの記述内容から】

火災の時は、だれが、どこで、どのような働きをしているかという視点で、教科書や見学を通して調べて解決したよ。事故や事件も、地域の安全を守るための働きを同じ視点で見なければよいと思う。きっと、警察や地域の人など様々な人の働きがあると思う。また、教科書や見学を通して問いを解決していきたい。

【教師の評価と指導】

- 「火事の時は…」や「同じ視点で…」などの記述から、前単元の学習状況を振り返っている。
- さらに調べるべきことを考え、学習問題の予想や学習計画を立てている。

「おおむね満足できる」状況(B)と判断

*「努力を要する」状況(C)の児童
→ 前単元の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導

評価したことを記録に残す時間と、学習状況を見取り指導に生かし学習改善や指導改善につなぐ時間のどちらも大切だね。

事についてまとめることができるようにすると共に、二つの単元の学習を振り返り、さらに調べるべきことを見いだすことができるようにする。

地域の安全を守ることはな

地域の安全を守るために、自分たちができることを考えようとする態度を養う。

- 地域の安全を守るために自分たちができることを考え、断し、伝えよう。
- ・既習事項の整理
- 今までの学習を振り返り、地域の安全を守るために自分たちができることを考え、まとめる。
- ・安全宣言の作成

関係付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。【態-②】

安全宣言の記述内容から「学習したことを基に安全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。【態-②】

評価の総括は、単元後半において行った評価結果を重視するという考え方もあるよ。継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況と捉えられるからね。

記録の総括の時期としては、単元末、学期末、学年末等の節目が考えられるよ。評価に係る記録が複数ある場合は、次のような方法があるから参考にしな。

○評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合

○評価結果のA、B、Cの数を基に総括する場合

その他にも、さまざまな方法が考えられるよ。

いずれにしても、評定への総括の考え方や方法は、教師間で共通理解を図り、児童及び保護者に十分説明し理解を得ることが大切だね。



【よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度】

【態-②】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 8/8時間

【活動の様子やノートの記述内容から】

火事や事件、事故から地域の安全を守るために、多くの方が予防や対処に努めていた。地域の安全を守るために、私も地域の一員として、地域で開催されている避難訓練に積極的に参加したい。また、火事や事故を起こさないように、火の扱いに注意したり、交通ルールを守ったりしたい。

【教師の評価と指導】

- 学習したことを基に考えている。
- 地域の一員として自分ができることを考えている。

「おおむね満足できる」状況(B)と判断

*「努力を要する」状況(C)の児童
→ 友達との対話を通して、気が付くように支援

